

唱歌遊戯

第一週

唱歌 二回

花咲爺(童謡唱歌名曲全集)

先きに黒板に歌詞を書いて置く。歌詞が長いので二回に分けて教へる。

年長組になつてから初めての唱歌なので、歌ふ時の態度を注意し、姿勢をよくすることに、さなつて歌はない事、口をよく開けて歌ふ事等注意する。

年少組で習つたものゝおさらひ。

遊戯 二回

新入園児の爲に遊戯をして見せたり、又小さい子供たちの間に入つて世話をする。

花咲爺(當園振付幼児の教育三十四卷五號参照)

演出遊戯。用意としてこれに必要なお面其の他のものを作る。

年少組でしたものゝ復習。

第二週

唱歌 二回

先週のおさらひ。

一人づゝ前に出て歌ふ。他人の歌つてゐるのを靜かに聞いてゐる様にした。

遊戯 二回

兵隊あそび(土川氏振付律動遊戯参照)

花咲爺

先週のとどき。

第三週

唱歌 三回

君が代

校歌「みががすば」

天長節の式に列席するので、君が代及び校歌は全校生徒が歌ふ故に、自分だけ勝手に聲を張り上げて大聲に歌はぬ様に注意する。

天長節の歌

これは先生が歌つて聞かせる。

遊戯 二回

種まき

自由表現(幼児の教育三十三卷十一號参照)

談話

第一週

一年長組の談話の配列は、新入園の時のやうに嚴密にする必要はない。一年を通して見れば、自らそこに選ばれてゐるわけであるが、一つ一つは時に前後しても差支はない。

幼児もきゝ手こしての態度は、年少組の一年の間にすでに養はれてゐるので、年長組になつたから云つて、更めて注意することもない。たゞ、いつもくゝきゝ手こいふ定

第四週

唱歌 二回

エンソク(エホンシャウカ ハルノマキ)

少しテンポを早め軽やかに歌ふこと。

遊戯

エンソク(子供の舞踊(一)参照)

型をほぐしていつて、いろいろの場合に幼児が話し手になる機會を少しづつ作つてゆきたい。

アリバ、

アラビヤナイト中の四十人の盜賊隊として、かなり傳へられてゐる話であるから、二三聞いてゐる幼児もあらうこと承知して話す。主眼は四十人の盜賊隊の活動であるが、幼稚園ではアリバ、の考や、して來た事を主とする方